

平成30年度
国有林モニターアンケート調査結果
(第1回)



平成30年7月

中部森林管理局

はじめに

国有林モニター制度は、より多くの国民の皆様身近な存在として国有林を感じていただけるよう、広く一般から国有林モニターを募り、国有林野事業についての理解を深めていただくと同時に、国有林野事業についての幅広いご意見等を頂き、これらのご意見を管理経営に役立てることで、「国民の森林」としてふさわしい国有林野の管理を行うことを目的としています。

今年度から2年の任期でお願いしました国有林モニターの皆様30名に国有林モニターアンケートを実施し、全員の方から回答をいただきましたので、その結果について取りまとめました。なお、自由記述の理由、意見につきましては、一部整理をして掲載しております。

◎ 国有林モニターの構成

(1) 性別構成

男性	21人
女性	9人
計	30人

(2) 年齢構成

	男性	女性
30～40才	1人	2人
40～50才	4人	3人
51～55才	1人	2人
56～60才	2人	
61～65才	6人	2人
66～70才	3人	
71才～	4人	
計	21人	9人

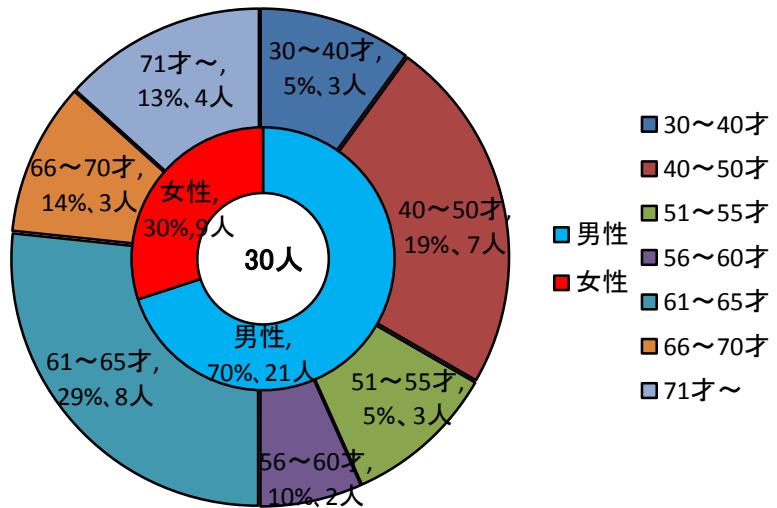
(3) 職業

会社員	6人
公務員	2人
施設職員	1人
自営業	5人
主婦	2人
その他	6人
無職	8人
	人
	人
計	30人

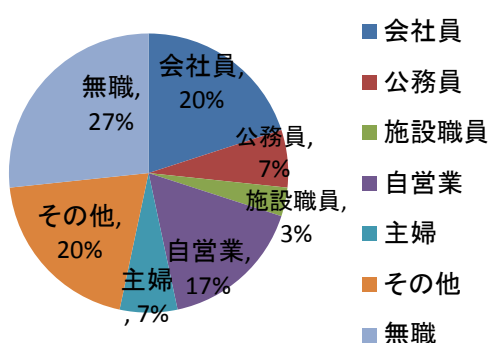
(4) 森林管理署等別

富山	2人
北信	3人
中信	6人
東信	3人
飛騨	3人
岐阜	3人
東濃	4人
愛知	6人
計	30人

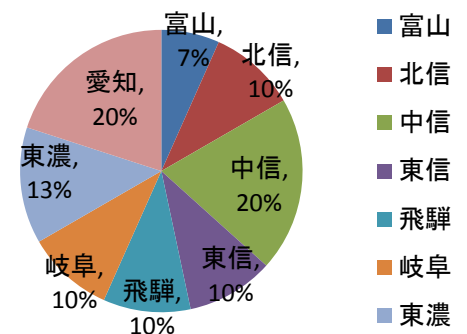
(性別・年齢別)



(職業)

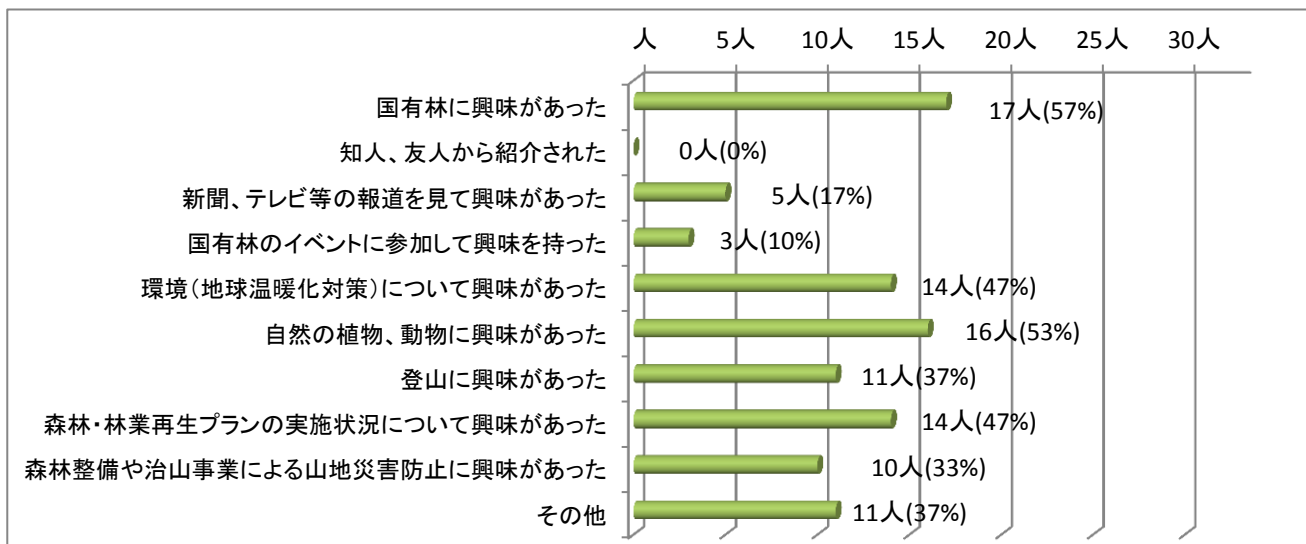


(住所の所在する森林管理署等)



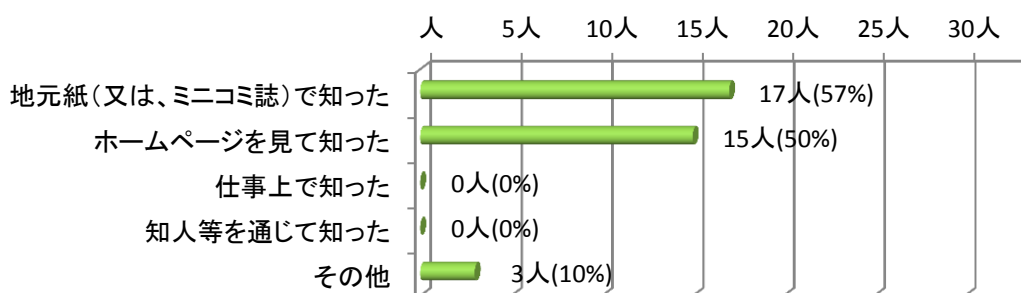
1 国有林モニターへの応募のきっかけ等について

問1 国有林モニターを応募されたきっかけについてお尋ねします。(複数回答可)



- ◎ その他(上記以外の応募のきっかけ)
- 林業事業体全体の遅れを感じており、国の施策に直結した国有林の実態について知りたいため。
- 私の父親や叔父らが昔営林局、営林署に勤務していたため、親しみを持っていたので、ずっと伝えて行きたいと思い応募しました。
- 民有林、国有林の現状と将来展望も知りたく応募しました。
- 海外へ旅行した時、灌木とサボテンの荒野を見て日本の森林の素晴らしさを改めて知ることが出来、応募しました。
- 山と森との関係を持ち続ける機会として考え応募しました。
- 昔、親の勤務先が営林署という人が多く、そういう仕事があるんだと知らされた。そして今、山に囲まれた飛騨高山に縁があって住んでいるので、身近に感じたから。
- 過去2回モニターに参加し、少しは知識を得ることができ、さらにいろいろなことを山に囲まれた岐阜県に住んでいるからにはもっと知識を深めたい、という思いで改めて応募しました。
- 赤松が枯れて、里山の田園風景が随分と味気ないものになってしまいました。最近では、ナラの枯木が目立つようになり、このままでは森林の風景も変わってしまう。モニターに参加することによって、この現状と解決策について、何かヒントが得られないものかと思い応募しました。
- 国有林の仕事に興味があったから。
- 身近にある民有林の荒廃、今後のあり方や森林環境税の導入について興味を持ったから。

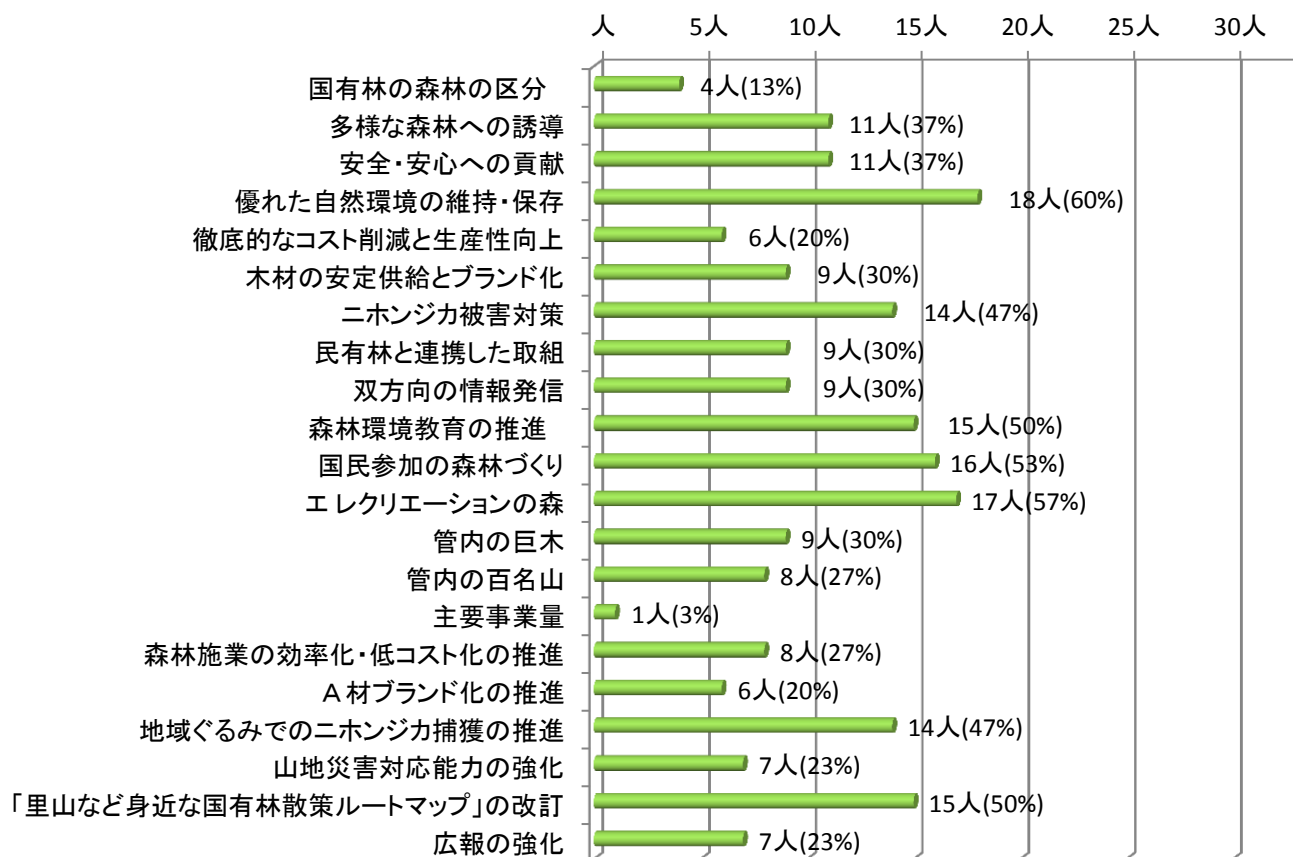
問2 国有林モニターについてどのような方法でお知りになられたかおたずねします。(複数回答可)



- ◎ その他(上記以外の応募のきっかけ)
- 懸賞ナビを見て。
- 中日新聞の地方情報欄を見て。
- モニターサイト(MONITO)募集により知りました。

2 平成30年度中部森林管理局の取組について

問1 業務内容で関心のある取組がありましたら教えてください。(複数回答可)



問2 問1で関心があるとした取組のなかで理由をご記入ください。

【多様な森林への誘導】

- 近年見られる各地での集中豪雨での対策や対応の仕方について興味をもった。
- 杉、桧林から新しい森林の形づくりが進められて行く様子をもっと知りたい。中部森林管理局がその先進として事例を作ってほしい。
- 伐採したら苗木を植えれば良いと思っていたが、何十年後を考えて針広混交林にするため、植栽していることを学んだ。
- 林には単層や複層林があることや森林における生物多様性の保全のためには単層林から複層林へ誘導することが重要だと知り興味を持った。

【安全安心への貢献】

- 近年見られる各地での集中豪雨での対策や対応の仕方について興味をもった。
- 大雨で山崩れが発生し、土石流で埋もれることが多くなった。山に十分な樹々が植えられていても発生するので、防ぐ手段がないのかと、ニュースを見て思った。
- 防災士を取得したことから、災害への対応については、とても気になったため。
- 最近自然災害が多く、迅速な対応には興味があるから。

【優れた自然環境の維持・保存】

- 豊かな自然の象徴である森・森林の多様性(温暖化防止、流域保全、動植物の生息・生育、水源涵養など)を守り、次世代につなげると思い関心を持った。
- 治山を含めた山林の大切さをもっと知りたい。
- 長く山歩きをしていたこともあり、原生林とか巨木に以前より関心があった。
- コリドーという野生動物の生態を考えて、保全のため取り組んでいることを学んだ。
- 森林の価値を高める一つの方法は、森林の木材源以外の経済価値を高めることにあると考えるため。

【徹底的なコスト削減と生産性向上】

- 資源である森をどう活用し、どう守るか。

【木材の安定供給とブランド化】

- 木材の海外輸出額増は全く知りませんでした。
韓国、中国が当面の輸出対象国となっている様ですが、両国に於ける森林育成状況、中国の砂漠化を含む環境問題に起因する国内森林保護の必要性を推測すれば、中部局管内を含む日本からの輸出は今後大幅増が見込めるのではないかと思います。林業の成長産業への貢献にも記載されていますが安定供給とブランド化の中で、民有林をも指導した一層の市場拡大が図れるものと拝見しました。
特に韓国への輸出は韓国の建築様式などから単なる丸太輸出で無く製品輸出での収益増が期待できるのではないかと思います。生産性向上(インフラ整備含む)が市場拡大に大きく寄与すると思っています。

【ニホンジカ被害対策・地域ぐるみでのニホンジカ捕獲の推進】

- ニホンジカ対策は重要な課題だと思う。被害は微少なものを含めて公表し、世論を巻き込むことを考えるべきと思う。
- ニホンジカ被害対策について、私の私有林のヒノキ林がかなり被害を受けており、関心があった。
- テレビでも報道されていて、真剣に考えるべきと思っていた。
- いまだになぜそんなに多いのかよくわかりません。昔はシカをとったりしていたのか？天敵がいないせいなのか？ジビエも増えてきていますが、まだ、食べたこともありません。農産物の被害は深刻だときいていますので、もっと知りたいと思うことのひとつです。
- ニホンジカをジビエ料理等の食材とすることに関心があるため。
- ニホンジカやイノシシなど、捕獲された鳥獣の利活用について関心を持っています。
- 野生のシカについては、地元の子ビエ講習会にも参加した。肉は臭みもなくおいしいので、もっと食用に利用出来ると思う。

【民有林と連携した取組】

- 官民手を取り合って国民の財産である森林を保護し、生産して欲しい。円高で木材のコストが思うようにならなくても、国民の理解を得て、材を生産していただけるようにしてほしい。
- 国有林にイメージするのは、適当に伐られた中で、傘を少しすぼめたような同じ形の何本もの針葉樹が、真っ直ぐに天に向かって伸びる美しい光景です。こんな美しい人工林を造ることなど、世界中で林野庁だけではないかと思っています。中でも木曽檜は、独特の赤みと詰まった年輪を持ち、木材の宝石ともいわれており、特に官材という別称で格別に珍重されていることも知っています。
生物多様性保全のため、針広混交林の造成をする記事を見ました。そのようなことは民間の山林所有者に任せることは出来ないでしょうか。景観ばかりでなく、材の質にも影響がないとは思われないからです。

【双方向の情報受発信】

- 国民の森林としての情報、森林教育と森林づくりに関心を持った。
- 国民の森として守ったり楽しんだり育てたりといった活動の必要性を感じるから。

【森林環境教育の推進】

- 国民の森林としての情報、森林教育と森林づくりに関心を持った。
- 次の世代へバトンをつなぐための環境教育をどのように行っているかを知りたいと思った。
- 森の幼稚園に興味があり、森を教育の場と考える姿勢に興味があります。
- 教育から伝えるべき事を伝えていくべきと思っていた。

【国民参加の森林づくり】

- 以前から参加したいと思っていた。
- 国民の森として守ったり楽しんだり育てたりといった活動の必要性を感じるから。

【レクリエーションの森】

- 自分自身が山の中へ走りに行くので山をどのように活用しながら守るのかに興味を持った。
- 始めて木曽の赤沢自然休養林に行ったときに、こんな山の中なのに、こんなに整備されていることに驚きました。ゆっくり歩いて楽しめるのもいい自然を大事に伝えていけたらと思いました。

【管内の巨木・管内の百名山】

- 地元の身近な所に巨木があることが知れて良かった。説明看板は必要と感じた。
- 一番身近に国有林と向き合える内容だと思った。特に管内の巨木は、管内のいたる場所で、見られるようなのでこういった内容を広報の強化で取り上げると、国有林についての理解が深まるのではないだろうか。
- なかなか資料に載っている山にすべて行くことは出来ないが、どこか近くに行って森林浴をして気持ちをリフレッシュしたいと思いました。

【森林施業の効率化・低コストの推進】

- 林業の発展に関しても、森林施業の効率化・低コスト化の推進が必要であると思うので関心を持った。
- 資源である森をどう活用し、どう守るのか。

【A材のブランド化の推進】

- 森林を守るための究極の方法は木材の経済価値を高めることにあると考えるため。

【山地災害対応能力】

- 山地災害後の対応とその後の安心・安全について関心を持った。
- 治山を含めた山林の大切さをもっと知りたい。

【「里山など身近な国有林散策ルートマップ」の改訂】

- 国有林を地域住民や多くの人達に身近に感じてもらうことが必要であると思うので関心を持った。
- 国民が気軽に楽しめる場として、国有林の機能を高めてほしいのと、もっと国有林の情報がほしい。

【広報の強化】

- 森林事業をもっと多くの人達に関心を持っていただくために広報による周知が必要であると思うので関心を持った。

【その他】

- 放置林を無くすこと。すなわち、間伐(或るいは皆伐)の徹底と適正な植林。我々のような「モニター」制度を含め、森林の適正な維持管理と有効活用の重要性を国民へのPRや教育を行う。
- 森林税の導入について、もっと国民一人一人が感心を持たなければいけないと危機感を感じ国有林についてもっと知りたいと思った。
- 基本的な思いは森林の位置づけをどうするのが良いかということです。時代の移り変わりと共に森林の果たす役割や期待像も変遷します。グローバル化の進む今日、日本の森林といえども地球規模の視点で捉える必要があります。現状は課題が山積していて、林野関連の方々が一方的に重荷を負っている感を呈しています。森林の持つ国土や環境保全、水源涵養や炭素循環、癒やしや教育文化等に対する役割への評価を適正にする(引き上げる)ことが期待されます。「森林は誰のものか。どうやって運営していくのか」に関心を抱いています。
- 日本国の重要な財産である森林の保持とより発展的な活用について、種々の取組を行っている事を知り、今後のレベルを格段に上げる必要があると強く自覚した為。

問3 問1の各項目以外に国有林で実施したら良いと思われる事業・業務等がありましたらご記入ください。

- ニホンジカに限らず「野生の動物」と称して幅広く対策をしてほしい。
- 国有林防災ボランティア制度を活用して、災害対策による実施及び安全確保の向上に生かして行くと良いかと思う。
- 建設業などと同様、女性の参加が望まれると思うので、若い女性が興味を持てるような事業が必要。
- 国有林での森林ボランティアの現況を知りたかった。(一部掲載されているが、具体的、より詳細に地域別に表にしてあれば良いのではないかと思う。・予算不足、人出不足の解消の一つの方策がボランティア活用の契機であったと聞いている。)

- メンタルタフネス、メンタルケアの為の場としての山(森)の活用法の研究。端材、間伐材の活用の研究。
- 各国有林の生育や保全状況の定期的な確認と今後の取組や検証方法等を分かり易く開示して欲しい。
- 森の県民税(国の予算)の使い道の紹介。
- 間伐材や枝打ち後の材の有効な利用方法として、セルロースから使い捨てプラスチックの代替品を作る。また、バイオマス技術によってエネルギーや飼料にするなど、様々なセクターでの研究機関で行われているようです。しかしながら、これの実用化目処を聞いたことがありません。あちこち捨てられたビニールゴミを見るたびに、これは喫緊の問題であり、間伐材の有効利用と最も身近にある機関として、これらの研究にも是非に取り組んでいただきたいものです。
- 「林業の成長産業化への貢献」には少し異論があります。私は「林業」が衰退することで国土保全が出来なくなると思います。野放図な機械化で道を入れまくっても産業としてペイするようにはならないと思います。国土保全の対価として「公金」を投入するということを割り切り、国民の理解を求めていくべきだと考えています。

森林教育事業

- 歳時記的要素(たとえば鳥やセミの鳴き始めはいつ頃とか?地域によって違って来るため、全体を見る事が出来る)や気象的要素(雨量や日照時間の地域の違い等々)などを加えて、全体を俯瞰して見る目を養ってもらうための教育事業

国有林のPR事業

- それぞれの国有林で、持廻りによるイベントを実施し、林業関係者や地元の人達との交流を深めるようにしたら、林業のPRになるのではないか。
- 登山と国有林の案内を兼ねたイベント(国有林内の登山道整備の様子)
- レクリエーションの森、幾か所かの休養林など有ります、これに加え今活動されている多くの内容、成果など、広報の強化として重点項目にも記載されていますが、幅広い層(人)の目に触れる様対応頂けたら素晴らしいと思います(頂いた資料を拝見しもったいない、と言うのが正直な感想です)。
- 景観を生かしたレクリエーションの森等を設定しているが、どこも不便そうで気軽に出かけられそうもない。都会や町からもすぐに行け手軽に森林浴が出来るところがもっとあればいいと思う。
- 子供たちが 楽しく参加できるイベント(天然木を使った積み木づくりやヒノキ玉の入浴剤づくり等)
- 物産展ならぬ地域のイベント等で木材(ブランド化した良質なものを)を展示したり、学校の校外学習等で子供たちに国有林のことを知ってもらう取組みをしてほしい。
- ウォーキング体験、キャンプ体験やアドベンチャー体験が出来たらいいなと思いました。
- 国有林で行われるオリエンテーリングや木登り、工作またはヨガや自然食の体験。

問4 ご覧いただいた「平成30年度中部森林管理局の取組」で改善すべき点、感想などありましたらご記入ください。

【感想】

- 暮らしを守るため、色々な取組みが至るところでされていると思う。本当に地道な活動で頭が下がります。
- 現在の状況から未来を見据えた計画を立てていることを感じます。また、国有林はこんなに少ないのかとも感じました。
- 国の機関が、モニター制度ばかりかレクリエーションの森の整備など、直接に国民と関わっていることを今回初めて知りました。レクリエーションの森では、あるがままの自然をそのまま生かして造られている様子が、良く理解できました。今の時代、桜の木を何故植えないのかなどという、いかにも正当論であるかのような意見もあったと思われませんが、これには全く耳を貸さないという、毅然とした行政姿勢も透けてみることが出来ました。
- かつて馴染んでいた営林局、営林署が大きく改組され、森林管理局。森林管理署になって20年近くになります。国有林野事業の経営という大きなテーマを背景とした中での地道な取組みの様子が伝わってきます。同時に出口の見通し難いスパイラルも感じられます。

【改善】

- タイトルにあるように、まさに”国民の森林・国有林”として、広く国民に認知をされ親しまれるよう宣伝・周知をもっともっと図るべきだと思います。
- 里山など身近な国有林散策ルートマップがあること事態知らなかったのも、広報等による周知が必要と思われる。

- レクリエーションの森が近い場所にこれだけあることを知らなかった。もっとPRした方がいいが、PRの方法も重要である。
- 森林管理署や各事務所のスタッフの紹介を通じて、(個人情報のあるかも知れませんが)仕事の様子や仕事のやりがいなどをアピールしてほしい。
- 山火事注意という看板(横断幕)をよく見ました。実際、そのような危険はあるのですか？
- 森の散策などしたいのですが、所々に「熊に注意！」「ハチに注意！」「マムシに注意！」とか看板がありますが、どのように注意して散策したらいいのか、指導がほしいです。
- この中の取組かどうかわかりませんが、住宅エコポイントなど、もっと使いやすく周知して活用した方がよいと思う。大がかりな住宅だけでなく、家具や木工品など伐採した木を使ってとか、小さなものにも使えるようにしたらどうか。
- 家を建てるときに県産のヒノキを使いたかったのですが、ハウスメーカーなので使えません。そういうことも周知が少ない理由なのではないでしょうか
- デフェンシブな項目とオフィンシブな項目に明確に整理区分し、業務の性格の異なる内容に合わせ組織、人事等従来の発想と異なる改革が必要と思う。
- 山林を所有するメリットがなくなり、境界がわからなくなり、所有者不明土地の増加へと進む中、国土保全につながる山林の管理をしていけるような施策を講じていただきたい。
- 「木材」「ニホンジカ」だけでなく、それをうまく活用する研究。森林管理局が自ら取り組むよりも優れた民間の取組を補償したり、補助金を出すのが良いと考えます。
- 「林業の成長産業化への貢献」には少し異論があります。私は「林業」が衰退することで国土保全が出来なくなると思います。野放図な機械化で道を入れまくっても産業としてペイするようにはならないと思います。国土保全の対価として「公金」を投入するということを割り切り、国民の理解を求めていくべきだと考えています。
- バイオ発電業者への間伐材、E材販売加速が記載されています。現在はFITで売電価格が決定していますが、例えば一般家庭に於ける電気料金の内再生エネルギー価格比率が上昇した場合FIT価格そのものの見直しは避けられないと思います、その場合木質バイオ発電も他の発電と共に価格は引き下げられると思います。
基本的に初期投資のみで済む太陽光、風力発電等に比しランニングコストが必要なバイオ発電事業者はハンディーを持つ事になると考えます。結果、間伐材E材などの価格引き下げに繋がりがねないと思いません、価格決定は政治的問題と思いますが、何らかの先を見た打ち手を考える必要が有ると思いますが如何でしょうか。

「平成30年度中部森林管理局の取組」冊子全体について

【感想】

- 全体的に読んで色使い、写真使い等見やすくわかりやすくまとめられた内容でした。
- 各々の取組毎に写真、グラフ、地図、図式等多く掲載してあり非常に分かり易い。

【改善】

- もう少し簡潔にしてページ数を少なくしてほしい。また、写真をもう少し見やすくして欲しい。
- 最後の方の位置図や組織図、沿革等は取組の中に入れなくてもよいのではないのでしょうか。広報紙にも共通すると思うのですが、あまりにも多くを同じ方法で詰め込みすぎている感じがします。もっとメリハリを付けた方がよいように思います。
- 文章が少し難しいのと、難しい漢字にはルビをふってほしい。また、専門用語が多いので、解説をつけたほうが良い。(簡略でよい)

問5 中部森林管理局管内(長野県、富山県、岐阜県、愛知県)の国有林で訪れてみたい場所がありましたらご記入ください。

- 富山県内の国有林(黒部溪谷、黒部立山アルペンルート、美女平風致探勝林、神通川森林計画区)
- 長野県内の国有林(戸隠・大峰自然休養林、湯ノ丸高峰自然休養林、赤沢自然休養林、御岳自然休養林、駒ヶ岳風致探勝林、滝越森林スポーツ林、桐池周辺、浅間山、菅平、笠ヶ岳、城山史跡の森、下諏訪御柱の森、軽井沢のカラマツ林)
- 岐阜県内の国有林(飛騨白山白川郷自然休養林、金華山自然観察教育林、乗鞍「五色ヶ原」の森、荘川の国有林)
- 愛知県内の国有林(定光寺自然休養林)
- ○4県すべての国有林

- 整備された自然休養林等見たいと思いますが、それとは別に食害による裸地、シカに掘る剥皮被害を受けている人工林の現状などを見学し、差し障り無いなら対策、対策遂行上の問題点など教えていただきたい。
- 「国有林」場所、特色や散策ルートの有無及び入林規制の有無が一目でわかるものがあればほしい。(一般の人達も知りたがっていると思う。)

3 広報誌「中部の森林」について

問1 中部森林管理局の活動報告や取組、お知らせ等を知っていただくために、広報誌「中部の森林」を毎月発行しています。「中部の森林」については、本年の3月号から新たに「〇月の見どころ 聴きどころ」のページを設け、また4月号からは文字を大きくするなど読みやすさの工夫もし、見直しをしたところです。ご覧いただいて、見直し後の感想、さらに改善すべき点など、ご意見がありましたらご記入ください。

【感想】

- 「見どころ聴きどころ」は地区のイベントが一覧できて、地区の活動状況がわかりやすい。(個人的にはお出かけの参考になり、有り難い企画と思います。)
- 「見どころ聴きどころ」ですが、自然と接する機会を知りたいと思っていた私には、こんなのがあればとずっと思っていたものです。
- 「見どころ聴きどころ」は各署の伝統行事やイベントの簡潔な紹介や厳選された写真は歴史や文化を感じ、気持ちが山に誘われるような企画頁です。文字の大きさは見やすいポイントでとりわけ高齢者に親切です。
- 各地域での事業報告や旬のイベント情報など、楽しく拝読させていただいております。ご当地自慢は知識が増えて興味深い頁です。
- イベントがわかりやすくよいと思います。このイベントを見て参加したことがあり有効な情報です。
- 写真も沢山あり、読み甲斐もあり充実したページだと思います。
- 幅広い活動内容に感心しています

【改善すべき点・意見】

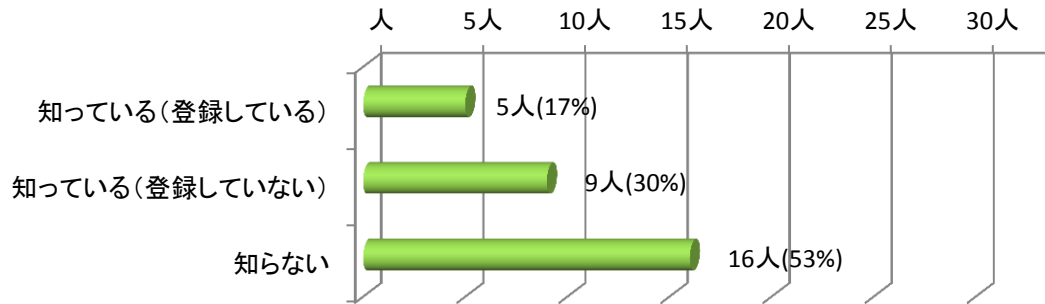
- 話し言葉調の文章で、編集担当者の「個人的意見」とも取れる表現・場合がある。
- 「お役所の広報誌」という感じを受けます。文章が少し堅苦しいのと専門用語が多いので、解説をつけたほうが良い。
- 文字が多いので、もう少し簡潔に短めにしたほうがよい。
- 文字が太字ばかりなので、小さいドット数の文字はつぶれてしまい読み辛い。
- 一般の人達が目にして、見ることが出来る様に考えてほしい。
- 「見どころ聴きどころ」の文字が小さい。前頁と同じくらいにしてほしい。
- 情報量との兼ね合いや行間・スペースとすっきり感は工夫の余地がある
- 各ページ毎に記載された記事が紙面ビッシリと標記されているために若干読み難い。ページの制約があると思うが、もう少し項目毎にスペースを空けるとよいと思う。
- 写真がふんだんに取り入れられ、洗練された編集の機関誌だと思います。あえて言うなら少し総花的であること。もう少しテーマが絞られた特集物もあっても良いかなと感じます。
- いつもイベントを楽しみに見えています。イベント情報は早めにもう少し詳しく申込先を記載していただくと、地元の人だけでなく、他県からも参加できると思います。
- 個々のテーマ、広報内容は良いと思うが、中長期的マクロ的戦略が基本にあり、それに添った戦術的広報のあり方が大事で、点の連続では広報の持つ大きな成果は期待できない。

【広報へのリクエスト】

- 「人」をフューチャーした記事を。人間が一番関心を持つのは「人」なので、森林官も含めて毎号関係する人物を紹介してほしい。
- 新規採用の職員さんが掲載されていましたが、その方たちの写真入りのコメント(働いてみて好きな森、好きな取組)が毎号あると楽しみです。
- イベント情報に掲載されたイベントの様子を翌月号に紹介すれば、(ホームページのみでも可)もっとよくなると思います。
- 日本人と木の文化についても紹介してもらいたいと思います。日常の中でしばしば使われる「人材」「適材適所」などの言葉も、木と深いかわりがあるかと思っています。木に関する民族文化を取り上げてもらえたらと思っています。
- コラムなどほっと出来るコーナーがあると良いと思います。

4 メールマガジンについて

問1 中部森林管理局のメールマガジンをご存じですか。



問2 中部森林管理局メールマガジンをご覧いただき、感想や改善すべき点、掲載内容のご提案等がありましたらご記入ください。

【感想】

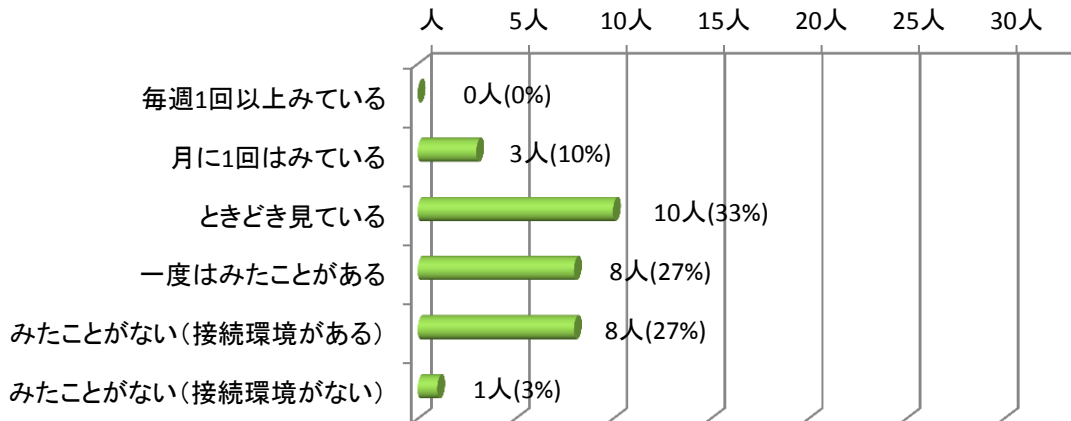
- 国有林に関する情報を「中部の森林」ダイジェスト版として配信する方法は、広報誌＝メールマガジン一体的でわかりやすい。
- 「見どころ聴きどころ」ダイジェストは色々なイベントが標記されており良いと思います。もう少し写真を載せてほしいです。
- 地域の歴史を知ることが出来ることは有意義であり続けてほしい。
- 森林管理局からのメッセージはとてもわかりやすく、身近に感じられました。
- 文量がちょうど良いと思いますが、固い感じを受けます。
- 林業に携わったことがなく、木材に関する知識が浅い一市民にとっては、専門的な知識を必要とする内容ではないかと思えます。季節感をいただくことの薄い都市住民に山の便りとして、“旬”の話題を届けてもらいたいと感じています。

【改善すべき点】

- ダイジェストが良いし見やすいが、写真やイラストをもっと使った方がいいのではないかなと思う。(読む動機付けとなる)
- インターネットをやっていない一般の人達にも見てもらえる方法を考える必要があるのではないかな。
- もう少し報告の他にも親しみのある文章があっても良いと思いました。
- 文章が堅め、キャラクターを載せるなどもっと工夫が必要だと思います。
- 広報紙担当の方にも森林管理局からのメッセージを記載してもらいたいと思いました。メールマガジンを読んでいたら、そのメッセージの部分にも興味をそそられたからです。
- 目次をクリックすれば本文が見られるようにする。ブックマークの採用を提言します。
- 山の自然やそこに住む人々の暮らしの工夫など載せてあると身近に感じられるのではないのでしょうか。
- 子供と一緒に参加できるイベント情報がほしいです。
- 「見どころ聴きどころ」は、より詳細な情報にいけるようリンクを貼ると良いと思います。
- 登録方法が面倒くさいので、QRコードで登録出来る様にしたらよい。

5 中部森林管理局のホームページについて

問1 中部森林管理局のホームページをご覧になったことはありますか。



問2 ホームページをご覧いただいて、感想や改善すべき点、掲載内容のご提案等がありましたらご記入ください。

【感想】

- フォトレポートにある数々の素晴らしい写真に関心、驚く。こうした自然を守り伝えて行くべきと思います。
- 想像していたよりはしっかりしており、とても見やすいHPだと思います。このままでも良いと思います。
- 森林管理局の活動内容など初めて身近に感じその幅の広さ、活動内容に正直感心しています。
- カレンダーがあって良かった。
- ホームページが中部らしい雪を残した景色でとてもきれいです。他のコンテンツも見やすく、アクセスしやすいです。
- 注目情報、キーワード、検索方法等のツールにより容易に分かり易いHPだと思う。
- すっきりしていて見やすく出来ています。専門的な内容のみならず、私ども一般人にとって親切です。組織の概要をみて全体像がよくつかめました。森への招待状は森を身近にさせてくれます。森林の魅力が伝わってくる内容です。

【改善すべき点及び提案】

- イベントの情報が少ない。
- 御嶽山噴火の対応で平成28年度以降のものがない。→何もやっていないと国民に思われます。
- 「ホームページ」とはどの分野、組織、会社等似たりよったりの書き方、レイアウトしかしていなく、中部森林管理局のも同じようなものです。どんなやり方をすれば人目を引けるのでしょうか？官公庁のホームページではなく、民間等のホームページのヒントがあるのかも知れません。
- 動画や画像にもっとアクセスしやすくなると良い。公共機関のホームページであり、画像、図面、地図等、安全保障上の支障につながる部分もあると思うが、3D地図的な楽しみ方は出来ると思う。ただ、そこまでコストをかけるほどアクセスする人がいるかどうかの問題はあるが。また、情報伝達、広報のみならず、知識、学習的(簡単な)部分もあると良いかと思う。例えばHowTo物、図鑑etc。
- 「フォトレポートギャラリー」を特に楽しみにしています。著作権等の問題もあるかと思いますが、誰でも自由にダウンロードしたり、営利目的以外なら転載等が出来る様にするなど、山や森の写真なら「中部森林管理局のHP」となるようにして、多くの方に「中部の森林」を親しんでもらえるようにしたらどうでしょうか。
- イベント情報をわかりやすく。ドローンをとばしたりして、動画を取り入れるようにしてほしい。
- 日替わりでトピックス等があると読みやすそう。

6その他意見・要望

問1 その他、「国有林」及び「国有林野の管理経営」などについてのご意見、ご要望等がありましたらご記入ください。

【感想】

- 国有林野の管理経営については、全く知らないことだったので今回モニターに参加することで知ることができ本当によかったです。
- まだまだ国有林の知らないことが多いです。国有林の事に関心をもって学んで行きたい。
- 「用語解説」が勉強になり、そうなのかと思うことがいっぱいありました。
- モニターになって早2ヶ月過ぎ、送られてくる資料の専門的なことに脳をフル回転させ呼んでいます。日本全国で地味で地道な仕事を確実にこなしている林野庁中部森林管理局の皆様には頭が下がります。この努力が災害から町を守り、被害が少なくすんでいることにつながっているのでしょうか。住民に向けても広報活動やイベントを催されたり、ホームページでもわかりやすく説明されています。「みどりの女神」も単なるアイドルではなく、しっかり自分の目で見、足で活動され、貢献されているなど感じています。
- 実家は山間地です。人が少なくなり荒廃して行く山を見るととても悲しいです。先日、上高地に行きました。上高地は歩きやすく自然なのに人工的なような、なんとも言いがたい感じでした。手を入れないと美しい自然は保てないのか、自然だから美しいのかよくわかりませんが、何年たってもその美しさがあるのは、マイカー規制や手入れのおかげなのだと思います。
- 日々の業務はほんとうに大変だと思います。(少し森林整備のお手伝いを通じて)お疲れ様です。ありがとうございます。

【要望】

- とても堅いイメージがあり、ホームページや冊子を見ても真面目なので、途中で飽きてしまいます。マンガのキャラクターなどを登用してはどうでしょうか。子供もつながってくれる気がします。
- インターネットやSNSの活用により、もっとPRする場所を多くした方が良い。
- 国有林の所在地でトレイルランが可能であればPRの場になるのではないかと。
- 事務所の業務内容紹介のイベントなどを企画してください。小学生の見学などを企画すると将来、林業に関わる仕事をしたいという人が増えてくると思います。
安曇野市「さとふる。学校」での見学、フィールドマップなどを参考にして見たらどうでしょう。
- 国有林で働く森林官の方々がどのような考えを持って、取り組まれているか直に話を聞いてみたいです。
- 山に登り感じているのは、矢印がなかったり、危険箇所についての注意喚起がない場所が多いと思います。国有林の管轄かどうかわかりませんが、今、各地で山での事故、トラブルが多いので、ここらへんにお金を使ってもらえたらいいのにと感じました。(山の会などに委託で十分だと思います。)
- 国民参加型の森林づくりや教育のための情報をもっと広く発信して欲しいと共に、管内だけの国有林(レクリエーションの森)だけでなく日本全国の国有林もより多く紹介してもらいたいと思います。
- よく名古屋事務所主催の「木曾の国有林見学会」がありますが、東濃地域の人参加しやすいように途中の集合地など作ってもらえませんか。
- 間伐材を有効に利用した商品、材料等の紹介や学生・社会人のボランティア活動による森林の保全・育成活動に参加した方々の意見や感想・提案・提起等を掲載して欲しい。
- 今回、国有林モニターになって知ったことが多々ありますが、一人でも何か取り組めることがありますか？

【意見】

- 一般の方に「国有林」及び「国有林野の管理経営」等について知ってもらえるよう興味・関心を持ってもらえるさらなる広報活動が必要ではないか。

- いただいた資料に国民の森林に対する期待値として①災害防止②温暖化防止③水源の涵養④木材生産が記載されています。特に①～③は国土保全の基本でありその期待は国有林に留まらず私有林をも包含していますが、現在の森林環境破壊(風水害被害拡大も含め)は基本的に私有林に起因する所が多いのではないかと個人的には受け止めています。
森林所有者が判明している場合には零細業者も含めその責務を明確にして対応頂くべく啓蒙する。対応不能の場合には森林環境税等に拠って国が買い取り経営管理、森林保全を図る。所有者不明森林などに関しては、官報などで告知し申し出が無ければ一定期間後国有化し経営管理(第三者委託を含む)をする必要が有るのではないかと思います。
民法にも「所有者の無い不動産は国庫に帰属する」との項も有ります、難しい部分もあると思いますが早急な対応が必要と思っています。
林業労働の生産性との項について、機械化に拠る効率化は十分理解できますが、マンパワーの生産効率のみでなく搬送などの効率化、搬出に至るインフラ整備が生産性に大きな影響を与え、製品価格(利益)に優位性をもたらずのではないかと思います。
- 地味な経営だけに今ひとつ国民の理解を得られていなかったり、予算の配分などで満足なものを得られていないのではないかと？
国家的見地から災害、水源確保、CO2問題等長期的展望を国家方針として確立させ国民への理解と協力が必要であり、いまのレベルから桁違いの発展、国民支持を取り付ける事がポイントではないか。
- 近所の方から軽井沢は国有林だから家は建ちませんと不動産屋さんが明言していたのに、今、1000mほどんどん国有林が売られて家になっていると指摘がありました。本当ですか？国有林ってそもそも売っているのですか？
- 国有林に限らず日本の国土の3/4近い面積を占める山林について、産業的視点より、公益的視点が重要であると考えています。正直「林業の成長産業化」ということは、不可能であると思っています。しかしながら、天然、人工、原生を問わず国土の過半を占める山林を常に健全に保たねばならない。公益性の中でも防災、水源かん養、治山治水、環境保全、国土保全は産業として成り立つか否かとは関係なく、不断的努力を求められると思う。国有林の役割は、山林の持つこうした機能を徹底的に追求、進化させる先導を努めることだと思います。山林を「林業の人達の世界」ではなく、国民が共通理解して、それなりのコストをかけて、「自分たちで守って行く」べきものと思うよう働きかけて欲しい。
- 行政のスリム化、経費節減、「民間へ」等、現業部分がなくなってしまう、国有林全体を常に「適正管理」状態におくのは難しいと思う。国民の理解不足は大きいと思うが、「国有林は荒れ放題」という状態にならないように、頑張っていたきたいと思います。
- 捕獲した野生鳥獣や特用林産物等を利活用して、中山間地域の活性化を図る施策を実施してもらいたいと考えています。このままでは過疎化と高齢化の進行に伴い、消滅してしまう地域が枚挙に暇のない程発生してしまいます。このような地域にこそ潜在的に資源が埋もれているのではないかと思います。



カラマツ新緑コンテスト優秀賞
「萌える森」撮影者: 古屋 治

まとめ

1 国有林モニターの構成状況について

- ① 参加者を地域別に見ると、富山県7%、長野県40%、岐阜県33%、愛知県20%となっています。
- ② 性別では、男性70%、女性30%となっています。
- ③ 年齢別では、最年少が30歳、最年長が77歳と幅広く参加していただいております。61～70歳が37%と一番多く、次いで40～50歳が23%、51～60歳が17%、71歳以上が13%、30～40歳が10%の順となっています。

2 国有林モニターへの応募のきっかけ等について

- ① 国有林モニターを応募されたきっかけについて尋ねたところ、17人(57%)の方が「国有林に興味があった」、16人(53%)の方が「自然の植物、動物に興味があった」と回答されています。

3 平成30年度中部森林管理局の取組について

- ① 関心のある取組について尋ねたところ、18人(60%)の方が「優れた自然環境の維持・保存」、次いで、17人(57%)の方が「レクリエーションの森」、16人(53%)の方が「国民参加の森林づくり」、15人(50%)の方が「森林環境教育の推進」・「里山など身近な国有林散策ルートマップ」の改訂と回答しています。また、「ニホンジカ被害対策」、「地域ぐるみでのニホンジカ捕獲の推進」がいずれも14人(47%)と回答され、高い関心があることが窺えます。

4 ホームページ、メールマガジンの閲覧状況について

- ① 「見たことがある」と答えた方が21人(70%)、インターネット接続の環境はあるが「見たことがない」と答えた方が8人(26%)となりました。
- ② メールマガジンについては、16人(53%)の方が「知らない」と回答されています。知らなかった方であっても、国有林モニター参加を機会に、新たに登録していただいた方が3名おられました。

5 アンケート全体を通じて

今回のアンケートを通じて、国有林のもつ公益的機能である優れた自然環境の維持・保存、「国民の森林」としての管理経営(レクリエーションの森、国民参加の森林づくり)、生息域を年々拡大するニホンジカの被害対策の取組といった内容に、高い関心が寄せられていることが分かりました。

また、これらの取組を広く国民の皆さんに知っていただくための広報活動、情報発信について、幅広かつ建設的な意見を頂きました。

皆様から寄せられました貴重なご意見、ご助言を参考にしながら、国有林野事業を「国民の森林」としてよりふさわしいものとするべく、取組を進めてまいります。